

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				令和元年2月24日	
国が児童発達支援事業所 任のほの							
項目	チェック項目	はい	どちらかといふ	いいえ	工夫している点		
					課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	1	区画しながら対応したり、活動の調整をしている。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	6	0		送迎・宿題時間にも少し職員間の協力が必要に感じる。利用定員を利用希望が大きく上回る日が多いため、中・長期的な方向性も踏まえて実状に対応していく必要がある。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	8	0		ひとり一人ニーズが異なり、目によって対応が異なるとなれば人数が多く適切だとは言い切れない。障害特性に応じたスペースの構造化などまだまだ不十分と感じるところがあるので職員間で話し合いながら一つ一つ進めていきたい。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	4	3	0	清潔で心地よく過ごせる環境を作れるよう努めています。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	1	その日の児童の様子に応じて臨機応変に対応している。	ひとり一人ニーズが異なり、目によって対応が異なるとなれば人数が多く適切だとは言い切れない。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	0			
	2 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	4	0		昨年度のアンケートの結果を一部把握できていないままになってしまっていた。	
	3 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページで公開しているか。	6	1	1		職員に周知しきれていない部分があるのでしっかりと仕組みや内容について周知していく。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	0			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	0			
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	2	0			
	2 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	0			
	3 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	0			
	4 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか。	7	1	0			
	5 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	0		標準化されたツールが何かが判らない。アセスメントのツールなどがあるが十分に活用されているとは言いづらい。	
	6 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	0			
	7 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	4	0			
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	3	0		長期休み以外の平日も活動が固定化しないように、日々新しい視点で職員一人一人がアイデアを出し合えるようなチーム作りを目指して行きたい。	
	9 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	0			
	10 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かくに設定して支援しているか。	5	3	0	長期休暇のみの利用希望にも柔軟に対応し、利用者の平日と長期休暇の支援ニーズの違いを把握してそれぞれに対応して支援を行っている。	長期休暇の時には人数も多く、きめ細やかな支援が行えていない時がある。	
	11 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	4	0	連絡ツールなどを用いたり、昼休りで情報共有したりしながら支援に当たっている。	十分に行えていない日もある。	
	12 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	0	昼休りや臨時のミーティングを随時行いながら振り返りを行っている。	毎日十分に時間を確保することが難しい。	
	13 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	3	1		記録をするが、毎日の検証には活用できていないと感じる。記録が追いついておらず、業務の改善が急務である。	
	14 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要と判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	0			
関係機関や保護者との連携	1 障害児相談支援事業所のサービ担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	3	0	関係機関との会議にはこどもの状況をよく知るものが参画している。事前に情報を集め、整理した上で会議に参入している。		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連携調整を適切に行っているか。	3	4	1		情報共有や連携は日々行っているものの、十分に行えていない、足りていないと感じる部分もある。関係機関連携や地域連携についてもスキルの高い職員を増やしていく必要がある。	
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	3	4	1		十分に把握しきれていない部分もある為、整理していく。	
	4 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6	2	0			
	5 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援の為、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小・学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有が行われているか。	6	2	0			
	6 他の障害福祉サービス事業所への円滑な移行支援の為、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか。	5	3	0			

保 護 者 へ の 説 明 等	7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	4	4	0		個人的に勉強中である。
	8	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	4	4		日常的に公園や図書館等、公共施設を利用する為、サービスを利用していないことも出会う機会はあるが、こちらから交流を促したり、新たに交流する機会を設けることなどはできていない。長期休みなど、活動に時間が多くとれる時などにそういった機会を作っていたい。
	9	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	0		
	10	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	2	3	3		職員によって能力や対応に差が出ている部分であり、今後、OJTや研修等を活用しながら、ペアレントトレーニングが行える職員を増やしていきたい。
	1	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	0		
	2	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最高の利益の優先考慮の観点を含め、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	0		
	3	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	3	0		
	4	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	2	0		
	5	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	2	5	1		移動美容室やリラクゼーションマッサージ等、保護者や利用者を楽しめる内容を盛り込んだ保護者の交流会を定期的に企画している。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	0		
非 常 時 の 対 応	7	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1	0		定期的に広報誌を発行し、SNS（インスタグラム）でも情報発信を行っている。
	6	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	0		
	9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	0		
	10	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	3		手炊きやビアガーデンなど松葉学園の行事には地域の方を招待している。ほのほので地域の方を招くような行事は行っていない。
	1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	2		各種マニュアルは策定し、閲覧できるようにしているが、職員やご家族への周知が十分でない。広報やSNSで訓練の様子なども発信していきたい。
	2	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	0		
	3	事前に、簡菜や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	3	0		利用中の子どもにてんかん発作が見られた際には、専用の記録用紙に様子や対応を細かく記録するようにしている。
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	5	0		保護者の申告のみで対応しているので指示書や書類を記入してもらう方が良いのではないかとと思う。
	5	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3	0		
	6	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4	0		熱中症や防犯のマニュアルなどがあるがご家族への周知が十分ではない為、今後しっかりお知らせしていきたい。
7	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7	1	0		ヒヤリハットを共有するツールを用いており、上がったヒヤリハットは懸札で日々周知し、対応の検討などを行っている。	
8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	0		年に1回必ず研修会に参加して、振り返りを行っている。	
9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	4	1		担当職員など一部の職員が把握しているだけになっていたので職員全体に周知していく。	